

産学官連携ポリシー

大学の使命は、教育と研究さらにはそれらの成果に基づく社会連携です。崇城大学は、建学の精神の一項目の「本学は産学提携により『知の基地』として新実学を形成し、芸術を含め、地域社会における文化の府となり、世界の平和に寄与しなければならない」に基づき、教育研究の成果について、産業界・行政に広く提供することを通じて、社会の発展に寄与することを目標としています。この目標を達成するために、下記の「産学官連携ポリシー」を定めます。

1. 産学連携の推進

- 1) 地域社会の問題解決支援のため、地域と連携して大学の知的財産資源の活用に積極的に取り組みます。
- 2) 産業界・行政等からの受託研究・共同研究の受入を積極的に推進し、様々な社会的要請に寄与する研究活動を展開します。
- 3) 社会貢献型の研究を奨励します。
- 4) 研究者情報やシーズを積極的に発信し、社会需要とのマッチングを図り、地域課題解決支援を進めます。
- 5) 研究成果は、産業界・行政等の発展のため活用します。

2. 成果の教育への還元と公開

- 1) 研究成果は、学生の教育に還元します。
- 2) 産業界や地域社会の持っている教育力を積極的に活用し、学生に実践的な知識・技能を身に付けさせ、地域に貢献できる人材を育成します。
- 3) 教育活動と産学官連携活動の一体化を目指します。
- 4) 研究成果は、学内外での発表会やセミナー等で積極的な情報発信に努めます。

3. 推進体制の整備

- 1) 産学官連携活動を積極的に推進するための大学の窓口となる「地域共創センター」を設置します。
- 2) 産学連携活動での成果については、適切に管理し、教職員の業績として、正当な評価を行います。
- 3) 諸規程及びポリシーを遵守するとともに、社会的な理解と賛同が得られる透明性の高い産学官連携活動を推進します。